ひのっこきょういく

日野市教育広報
第102号

■平成27年3月17日発行
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代)

発行　日野市教育委員会（編集 教育部学校課）

教育目標
ひ らこう世界へ
の びようともに
っ くろう夢を
こ えよう自分を

紙面から

中学生駅伝大会、豊田小学校に改称、
ひのっ子がんばってます 他 …… 1
出前点字事業、ロープジャンプ大会、
手風呂調べています、新選組書展 他 …… 2

第6回 中学生「東京駅伝」大会

2月8日(日)味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースにおいて、第6回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。「東京駅伝」大会は、中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力向上を目的として区市町村対抗の中学校2年生による駅伝競走を実施しているものです。女子は16区間30km、男子は17区間42.195kmを襷を受け継いで走ります。昨年度は、大雪のため中止となった本大会ですが、今年度は大会を行うことができました。

日野市では、10月12日(日)、15日(水)の両日に市民陸上競技場において、選考記録会を行いました。各中学校から選出された男子48名、女子29名の中から、補員も含めて、男女21名ずつの総勢42名の日野市代表チームを決定しました。

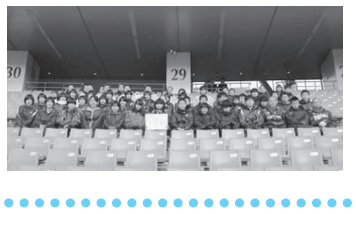
その後、11月29日(土)、12月13日(土)、1月24日(土)の3回の合同練習を行い、2月1日(日)には、大会の会場となる味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースの試走会を行いました。12月13日(土)の合同練習の後には、日野第一中学校で結団式を行いました。市長、教育長、各中学校の校長から激励の言葉を受け、選手一人一人が決意の言葉を表明し、男女それぞれのキャプテンが男女のチームを代表して大会に向けての抱負を発表しました。そして、今年の日野市のチームのスローガンを「つなげ！42名の魂の襷を」として、チームの団結を強めました。

3回の合同練習では、監督、コーチの指導のもと、男女のキャプテンを中心に自主的に動き、練習に取り組みました。今年のチームは団結力がよく、お互い声を掛け合い、励まし合いながら練習に挑んでいました。

選手一人一人が目標タイムを決めて、目標に向かって取り組み、練習を重ねるごとに、タイムも伸びていました。また、箱根駅伝に出場した中央大学陸上部の選手に、走る心構えや走り方のポイントを教えてもらったり、一緒に走ってもらったりしました。その後のタイムトライアルでは、多くの生徒がベストタイムを出すことができ、自信をもつことができました。

2月8日の大会当日は、午前10時に女子がスタートしました。中盤になると冷たい雨が降り始めてきました。苦しい状況の中、一時、順位が下がってしまいましたが、後半に入り順位を上げていき、10位入賞でゴールしました。続いて、午後1時、雨が強くなりコンディションが悪い中、男子がスタートしました。中盤にかけて苦しい状況が続きましたが、後半になって追い上げて、21位でゴールしました。

日野市の総合順位は14位と大健闘し、一人一人が力を出し切り、団結力が実を結んだ結果でした。来年度も今年以上の成績を目指して取り組んでいきます。



当日は、各中学校の校長先生、副校長先生はじめ、多くの教員、保護者の皆様に応援していただきました。また、大会まで生徒たちを支えてくださり感謝いたします。

（学校課）

「日野第二小学校」の校名が「豊田小学校」に変わります

「日野第二小学校」は、4月1日から校名が「豊田小学校」に変わります。豊田の地名を冠した校名は、明治7年の開校以来81年間使われました。開校140年を迎え、校名改称に向けた地域や関係者の皆様の地道な運動で「学校が地域の発展と豊かさの象徴として伸びるように支える」との機運が高まり、教育委員会への請願、採択、議決、市議会の議決を経て改称することとなりました。

（庶務課）

ひのっ子がんばってます

日野第一小学校

第10回しきなみ子供短歌コンクール

文部科学省の後援と一般社団法人倫理研究所主催のコンクールに、一小では開催当初からさくら組を中心に短歌づくりに取り組み応募してきました。今回、全国から6万首を超える応募で、文部科学大臣賞3名に次ぐ特選30名と佳作に1名ずつ選ばれました。

【特選】 さくら組1年
中谷　裕貴さん
かなづちが　ついにおよげた
プールでね　はくしゅがおきた
ママはおおなき

【佳作】 さくら組1年
辻　結稀菜さん
あかちゃんに　やっとあえたよ
ないてたよ　ミルクをあげた
ママわらってた

明治神宮会館にて

日野第七小学校

七小侍、いざ、ロープジャンプ大会へ！

七小ではロープジャンプ大会へ向けて昨年12月から練習を重ねてきました。朝練習では、寒さにかじかんだ手に息をかけながら努力をしています。速いテンポで回るロープの中で、隊列になり跳び続けることは見た目以上に難しく、アドバイスする教員も子どもたちと一緒になって一生懸命考えます。試行錯誤の連続ですが、その過程は楽しく、日々記録が伸びていくことに励まされます。大会では試合の結果も大切ですが、子どもたちと教員が、これまで共に努力した時間を思い起こしながら一体となり、最高の時間を共有できることを願っています。応援、引き続きよろしくお願いします。

目指せ入賞！ジャンプ！

（学校課）

教育センター『調査・研究』の発表会を実施しました

教育センターでは、学校教育基本構想に基づき、当面する教育課題の調査・研究を関係機関のご協力のもと進めています。そのうち、次の課題について、調査・研究の成果を2月19日(木)に発表しました。

①理科教育推進研究
「ひのっ子」が、主体的に活動する理科教育が展開されるよう学校・教員への理科支援（教員の理科の指導力の向上、理科授業の改善、研修の充実）

②郷土教育推進研究
第2次学校教育基本構想を具現化するために、ふるさと日野に誇りと愛着をもった「ひのっ子」を育成する研究・実践（豊田地区のフィールドワーク、郷土教材の開発と指導法、幼稚園・小学校での実践事例、郷土資料館・新選組のふるさと歴史館・中央図書館の活用と連携）

本年度は、新たな研究の成果を得ると共に、日野市公立校での活用を図る工夫を重ねてきました。

各学校においてはこれらの成果を生かして行くことが期待されます。

（教育センター）

点字体験授業を行っています

図書館の障害者サービスでは、主に小学校4年生を対象とした点字に親しむための授業を一クラス2時間のプログラムで行っています。授業内容は、点字で書かれた様々な種類の本等の紹介（目の見える子も見えない子も一緒に楽しめるゲーム含む）、視覚障害者の生活のことに関する質問に答える時間、そして、実際に点字を書いたり、点字で遊んでみようというものです。

「街中で白杖を持って歩いている人は見たことがある」と多くの子どもたちは話してくれますが、「目が見えなくても料理が作れるんですか？」「お風呂は入れるんですか？」と素朴な質問に答えることもある授業前半。ちょっと緊張気味の子どもたちの前で、視覚障害者の生活や仕事に関するクイズを出したり、点字の早撃ちを見せると、一気にクラスの雰囲気がやわらかくなります。そして、ちょっと難しい点字の書き方や決まりの説明。ややこしくてときには少し眠くなってしまう子どもたち。でも、しっかりと覚えたばかりの点字の決まりを答えてくれます。授業後半は実際に子どもたちが書いた点字をその場で全盲の図書館職員が読み上げ、点字を書く音と笑い声、ときには「間違えた！」という悔しい声が教室に溢れます。授業が終わることも忘れて点字を書くことが止まらない子どもたちも！

文字の一つである「点字」を用いて視覚障害者と実際に交流できることの喜びを特に体験していただくことを目的とし、全盲の図書館職員が中心となって授業を進めていきます。

お気軽にお問い合わせください。授業の予約のご相談はお早めに。

【問合せ先】
図書館障害者サービス担当
電話581－7612

（図書館）

第40回日野市ロープジャンプ！小学生大会が開催されました

2月28日（土）「市民の森ふれあいホール」にて『第4回日野市ロープジャンプ！小学生大会』が市内公立小学校15校・60チーム、児童約1400名の参加のもと盛大に開催されました。

結果につきましては第1位日野第六小学校「『翔舞』HINO6 JUMPING FIGHTERS2」チーム、第2位日野第五小学校「五小全力ジャンプ41」チーム、第3位日野第八小学校「ガンガン行こうぜ！挑感動☆レジェンド4組」チームでした。

参加いただいた児童のみなさん、指導・引率いただいた先生方、また当日ご声援いただいた皆様ありがとうございました。

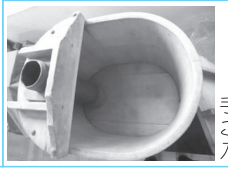
（文化スポーツ課）

WANTED ウォンテッド 手風呂（てぶろ） 調べています

携帯電話と比べてみました。

郷土資料館におもしろい物が寄贈されています。昔使われていた檜の風呂桶を小さくしたものです。桶の中にお湯を入れ、ブリキの丸い筒が立っており、その中に炭火を入れ、落ちないように網が置かれています。また、丸い筒の反対側に蛇口が付いています。冬場の仕事（紙漉き・蓮根ほり等）でかじかんだ指先を温めるには、ちょうど良いものです。みなさんの中で「見た事がある」「聞いた事がある」方はぜひ情報をお待ちしています。

炭火を落ちなくする網です。


手風呂の中です。この中にお湯を入れます。

正面から

（郷土資料館）

第八回新選組書展開催

新選組のふるさと歴史館では、新選組ゆかりの文字を書く公募の書道展「新選組書展」を、例年開催しています。

今年の課題は、毎年の課題「誠」のほか、幕末の文体である候文「局中一統皆無事ニ相勤おり候」、新選組ゆかりの地名シリーズ「勝沼」の三つです。

「局中一統皆無事ニ相勤おり候」は、京都にいる新選組六番隊組長の井上源三郎が、慶応元年に、兄で八王子千人同心の松五郎に宛てた手紙（井上源三郎資料館所蔵）の中の一文で、新選組の仲間が元気でいることを伝えています。原文は局中先生始メ、土方　沖田　永倉　武田　藤堂　斎藤　其外一統皆無事ニ相勤おり候」で、先生とは天然理心流剣術宗家で新選組局長の近藤勇のことです。書状ではこの後、将軍徳川家茂が上洛して京都は静かだが、近々長州征討が行われるだろうと、当時の緊迫した世情を伝えています。

また、「勝沼」は鳥羽伏見の戦いの後、甲陽鎮撫隊になった新選組が新政府軍と闘った「勝沼戦争」にちなんでいます。

全国から寄せられた応募作品は764点におよび、そのうち日野市内の小・中学生の応募は650点でした。

新選組書展では、これら応募作品をすべて展示します。この機会に、新選組の歴史に触れながら、筆文字の面白さを味わってみてはいかがでしょうか。

【会期】3月1日（日）～4月12日（日）
【会場】新選組のふるさと歴史館　電話583－5100
※応募多数のため、会期半ばで展示作品を入れ替えます。

審査の様子

（新選組のふるさと歴史館）

家庭教育通信⑨

正しいしつけは子供への大切な贈り物

「子供が相談したくなる親はどこが違うんだろう。」

人は愛され理解されたがっている存在です。理解されないときの不満がたまるとキレることもあります。突然子供がキレたとき、本人も親も理由がよく見えず、怒ったり苦しんだりしますが、理由はあるのです。

日ごろから相手の話をじっくり聞く、同じ目の高さで考える、深い関心を払う、といった姿勢を親が身につけることで、子供は親に愛されている実感を得ることができます。

子供は愛されていると感じるとき、安定した気持ちで問題に立ち向かうことができます。そして、不必要に攻撃的にならず、他者や問題を受け入れることができ、大きく成長できるのです。

出典　文部科学省発行「家庭教育手帳」

（生涯学習課）

都市間交流事業

2月21日の（土）に市民の森ふれあいホールにて、少年サッカーチームが参加して都市間交流事業を行いました。

これは、日野市内にある企業、日野自動車（株）のテストコースがあるつながりで茨城県常陸大宮市と交流をしています。

この交流は、平成19年から行っていて、最初は「よさこい踊り」で交流を行っていましたが、平成25年度、26年度は、少年サッカー・フットサルの市内チーム、プリメイロスFC、ジュニアファイブSC、リトルキッカーズが参加して交流を行いました。

当日は、常陸大宮市からも3チームの少年サッカーチームが参加して、リーグ戦で交流しました。昼食は両市のチームが混ざってのカレーパーティ、午後はフットサルクリニックを、北澤豪代表が営むフットボールコミュニケーションアカデミー所属の千羽未希也コーチを招いて行いました。

参加チームの子ども達に楽しい一時を過ごしてもらいました。

皆さんのクラスにもこの事業に参加した人が居るのではないでしょうか。今後もサッカーだけでなく、いろいろなスポーツ交流を行っていこうと考えていますので、皆さんも一緒にスポーツで交流しましょう。

（文化スポーツ課）

短編アニメ映画「陽なたのアオシグレ」上映及び原画展示を開催

期待の若手ナンバーワン・アニメーション作家「石田祐康」劇場公開デビュー作で、映画の中に日野市が出てきます。また映画上映の他にぬり絵体験などが出来る体験型コーナーもあります。ご家族で遊びに来ませんか。

「映画」
【日時】3月21日（土）・22日（日）
10時から15時　開場午前10時　①午前11時から　②午後2時から
※上映時間18分
【場所】市民の森ふれあいホール2階　コミュニティルーム1
【内容】短編映画「陽なたのアオシグレ」
【入場料】無料　※どなたでもお入りいただけます。

「ワークショップ」
【日時】3月21日（土）・22日（日）
①塗り絵　②展示
いつでもご覧いただけます。
【場所】コミュニティルーム2
【内容】みんなで主人公シグレを塗ろう！・生原画や絵コンテなどの展示
【対象者】小学生以上
【参加費】無料
【共同主催・問合せ先】
文化スポーツ課　電話585－1111　内線3812
スタジオコロリド